

県議会だより

令和8年6月
定例議会

「愛知県美術品等共同収蔵庫」の整備を推進するためなどの 補正予算を可決

令和8年6月定例愛知県議会は、6月15日に開会し、18日間の会期を経て7月2日に閉会しました。その概要をお知らせします。

議員提出 議案 (意見書)

議会の意思を国政に反映させるため、次の5件の意見書が可決され、衆参両院議長及び内閣総理大臣始め関係大臣等に提出されました。

- ・農業用ため池における防災対策の推進について
- ・自動車産業分野におけるカーボンニュートラルの実現と地域経済の両立について
- ・国会における安定的な皇位継承の論議の推進について
- ・公立高校の魅力向上に資するキャリア教育の充実及び教育環境の整備の推進について
- ・青少年がSNSを安全に利用できる環境整備の推進について

知事提出 議案

知事から、6月15日に「令和8年度愛知県一般会計補正予算(第1号)」など31件の議案(予算:2、条例:6、その他議案:23)が提出され、また、6月29日に「令和8年度愛知県一般会計補正予算(第2号)」(予算:1)が追加提出されました。提出された議案は、本会議の審議、委員会の審査を経て、すべて原案のとおり可決又は同意されました。



知事提出議案の提案理由説明の様子

代表質問

6月17日、次の2人の議員が県政各般にわたる問題について、それぞれの会派を代表して質問しました。



自由民主党

田中 泰彦

1 行財政運営

- (1) 県税収入の見通し
- (2) 今後の財政運営

2 安全・安心な暮らしの実現

- (1) 南海トラフ地震の新たな被害予測調査を受けた地震防災対策
- (2) 特殊詐欺対策

3 活力と魅力あふれる愛知の実現

- (1) 美術品等共同収蔵庫の整備
- (2) 栽培漁業の強化
- (3) 魅力のある都市公園づくり

4 次代を担う人づくり

- (1) 子どもの権利に関する条約の制定に向けた取組
- (2) 県立高校の改革

5 新しい時代に飛躍する愛知づくり

- (1) 米国渡航の成果を踏まえたスタートアップ・エコシステムの更なる充実
- (2) 自動運転高速バスの社会実装に向けた取組
- (3) モノづくり愛知を支える道路ネットワーク整備
- (4) アジア競技大会・アジアパラ競技大会

詳細は右記にて

主な質問及び答弁内容

自動運転高速バスの社会実装に向けた取組

質問

自動運転は、次世代自動車のキーテクノロジーのひとつであり、その技術開発や社会実装を支援することは、自動車産業の競争力強化に大きく貢献するものである。愛知県では、2016年度から自動運転の実証事業を積み重ねており、2025年度からは、中部国際空港へアクセスする高速バスを用いた自動運転の取組に着手した。こうした先進的な取組が評価され、国の「自動運転社会実装先行的事業化地域事業」に選定された。中部国際空港へアクセスする高速バスの自動運転の取組について、国の「自動運転社会実装先行的事業化地域事業」への選定を受け、今後どのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。

答弁

中部国際空港周辺で昨年度から実施している高速バスの実証は、国の「自動運転社会実装先行的事業化地域事業」に選定された事業の中で唯一、大型バス車両による時速80キロの自動運転レベル4走行を目指す全国初の取組である。国の「自動運転社会実装先行的事業化地域事業」への選定を踏まえ、今後、国の知見や資金も活用しながら、取組を一層加速していく。路線バスより収益性が高く、ドライバー不足の解消に資する自動運転高速バスの早期社会実装は、バス会社の期待も大きいことから、引き続き、国の強力な支援を受けながら、2027年度の社会実装を目指し、愛知から全国へ展開していく。



あいち民主

小木曾 史人

1 誰一人取り残さない社会の実現 ～人への投資と社会的包摂～

- (1) 子ども・若者の意見を施策に反映する取組の推進
- (2) 安心して子どもを産み育てられる環境整備
- (3) 青少年保護育成条例
- (4) 教員不足の解消

2 県民の命と暮らしを守る危機管理 ～命を守る基盤づくり～

- (1) 救急安心センター事業 #7119の導入
- (2) 自転車 の青切符制度導入後の課題
- (3) 大規模災害への備えのうちハード対策
- (4) 大規模災害への備えのうちソフト対策

詳細は右記にて

3 愛知の持続可能な成長と 産業競争力の強化

- (1) Aichi-Startup戦略及び革新事業創造戦略の推進
- (2) 製造業を中心とした地域のモノづくり産業を支える人材の確保・育成
- (3) 新規就農支援
- (4) 下水汚泥の利活用
- (5) アジア・アジアパラ競技大会

主な質問及び答弁内容

大規模災害への備えのうちソフト対策

質問

大規模災害への備えとして、ハード整備だけでなく、平時からの備えや被災後の生活支援体制といったソフト対策が極めて重要である。県の独自調査で示された南海トラフ地震の災害関連死者数の予測は、約3,300人から約8,400人に上ると推計されており、大規模災害に対峙するには、県民の行動変容の促進、防災DXの推進、フェーズフリーの考え方による受援体制の構築が必要である。また、市町村と連携し、避難生活の質向上に向けた支援体制を整備すべきである。大規模災害時における災害関連死を防ぐ取組を様々なソフト対策を組み合わせ、より具体的に県全域で波及・定着させる必要があるが、今後の県の取組について、知事の所見を伺う。

答弁

災害関連死を防ぐためには、被災者の避難生活の全期間にわたって、良好な生活環境を確保することが必要である。県では、市町村が行う避難生活環境の整備に要する費用を財政面で支援する他、国と連携して避難生活支援を担う地域人材の育成等に取り組んでいる。今年度は、複数の市町村を選定し、有識者などの専門家の助言を得ながら、良好な避難生活環境の確保に向けた対応方法の検討を、県が伴走型で支援するモデル事業を実施していく。引き続き、市町村における良好な避難生活環境の確保に向けた取組を支援し、災害関連死を少しでも減らすことができるよう取り組んでいく。

一般質問

6月18日及び19日に一般質問が行われ、次の15人の議員が県政の課題について質問しました。

議案質疑

7月2日、1人の議員が6月29日に追加提出された議案について質疑を行いました。

お知らせ

令和8年8月定例愛知県議会(予定)
【会期:8月27日(木)～11月9日(月)】
・代表質問: 8月28日(金)
・一般質問: 8月31日(月)、9月1日(火)
・委員会: 9月 2日(水)、11月4日(水)、5日(木)

ホームページ

本会議等の日程や質問通告、結果概要などの情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/gikai/>

愛知県議会キッズページ

子どもの皆さんに、楽しみながら県議会を知ってもらえるWebサイト「愛知県議会キッズページ」を公開しています。保護者や教育関係の方々も、ご家庭や学校で子どもたちと一緒にご覧ください。

<https://gikai-kids.pref.aichi.jp>



委員会

6月23日、24日、25日、26日及び7月2日に常任委員会が開催され、6月23日、25日、26日及び7月2日には付託された知事提出議案の審査が行われました。また、6月23日、24日、25日及び26日には各常任委員会で一般質問も行われました。

請願

27件の請願について、関係常任委員会及び議会運営委員会が審査した後、本会議で審議され、前回の議会でも継続審査となっていた次の1件の請願が、再び閉会中に継続して審査が行われることになり、残りの26件は不採択とされました。

・「愛知県議会議員選挙の選挙区」について

※会派は次のとおり略称としました。

(自民) = 自由民主党愛知県議員団
(民主) = あいち民主県議団